

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
音楽・声楽/器楽	1年 (音楽コース)	1		イタリア歌曲集1[新版](全音楽譜出版)他 声楽:コンコーネ50番(全音楽譜出版) 器楽:ハノンピアノ教則本
科目の概要と目標	あらゆる音楽表現の基礎としてのみならず、各自の個性や音楽性を発揮したより音楽的な表現を目指す。			
授業の進め方	主科・副科とも年間を通じて隔週で、声楽と器楽(ピアノ)を個人レッスンの形態で行う。 声楽では発声訓練を経て、「コンコーネ50番」を使用した基礎訓練と並行して、各自の選んだ歌曲に取り組む。まず、自分で歌ってみることで、毎日声を出すことが何よりの上達の近道である。 器楽(ピアノ)では、各調のスケール(音階)を含む基礎訓練と並行して、各自の進度に合わせた課題に取り組む。練習時間の確保に努めることが大切である。			
評価の観点と方法	1, 2学期は、声楽分野(日本歌曲及び「コンコーネ」)の実技試験結果が成績となる。きちんとした発声法が身についているか、音楽的な表現を目指しているか等を評価する。 3学期は器楽分野(ピアノ)の実技試験を行い、基礎的な奏法が身についているか、音楽的な表現を目指しているか等を評価する。 学年末成績は、声楽と器楽の総合評価になる。			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年間授業内容	1学期	声楽:「コンコーネ50番」 No.1~4 各自の選択曲(日本歌曲) 器楽:ハノンピアノ教則本 各自の課題	[内容] 声楽:発声・ヴォイストレーニング・歌唱法及び伴奏法 器楽(ピアノ): 各調の音階・各自の進度に合わせた基礎的奏法及び音楽的表現の工夫 [目標] 声楽: ・各自の声質や個性を生かした表現を目指す。 ・伴奏ピアノとのアンサンブルに留意することができる。 器楽(ピアノ): ・調号1つまでの長調の音階を暗譜で奏することができる。 ・各自の進度に見合った楽曲を音楽的に演奏できる。	
	2学期	声楽:「コンコーネ50番」 No.5~8 各自の選択曲 器楽:ハノンピアノ教則本 各自の課題		
	3学期	声楽:「コンコーネ50番」 No.9~10 各自の選択曲 器楽:ハノンピアノ教則本 各自の課題		